

【通信】

総会

日時：2022年6月27日(日) 16:30～17:30

会場：酪農学園大学 C5号棟 203号教室

1. 議題

(1) 2021年度事業報告および決算報告

①研究会・総会の開催(詳細は会誌18号【通信】欄参照)

・第1回研究会・総会 オンライン開催

2021年6月27日(日) 13:30～16:30

研究発表：3件

総会：2020年度事業報告・決算報告 2021年度事業計画・予算案など

学会賞受賞者表彰式

・第2回研究会 主催：北海道民族学会、共催：浦幌町教育委員会

2021年11月13日(土) 13:30～17:00 会場：浦幌町立博物館

11月14日(日) 9:00～11:40 エクスカーション：オタフンベチャシ跡ほか

特別講演『浦幌の地理・歴史・博物館の役割』

講師：持田誠氏(浦幌町立博物館/学芸員)

研究発表：4件

・北海道民族学会・日本文化人類学会北海道地区研究懇談会 第3回卒論・修論・博論合同発表会

2022年2月21日(月) 13:00～18:30

オンライン開催 研究発表：10名

②『北海道民族学』第18号の刊行(2022年3月刊行、86ページ)

論文1、研究ノート2、書評・紹介4

③新規入会6名

**2021 年度決算報告**

(期首：2021 年 5 月 1 日 期末：2022 年 4 月 30 日)

**収支報告**

| 収入の部        | 予算 ①      | 実績 ②       | 差額 ②-①    | 備考          |
|-------------|-----------|------------|-----------|-------------|
| 前年度繰越金      | 861,167   | 861,167    |           |             |
| 会費収入        |           |            |           |             |
| 当該年度会費      | 165,000   | 165,000    | 0         | 55 件、免除 7 名 |
| 過年度未収金      | 36,000    | 30,000     | △ 6,000   | 10 件        |
| 先払い分        | 0         | 78,000     | 78,000    | 26 件        |
| 小計          | 201,000   | 273,000    | 72,000    |             |
| 会誌販売収入      | 10,000    | 18,400     | 8,400     |             |
| 雑収入         | 0         | 1,000,004  | 1,000,004 | 津曲さん寄附、銀行利息 |
| 2021 年度収入合計 | 1,072,167 | A2,152,571 | 1,080,404 |             |

| 支出の部        | 予算 ③    | 実績 ④      | 差額 ③-④   | 備考                    |
|-------------|---------|-----------|----------|-----------------------|
| 会報作成費用      | 120,000 | 86,840    | 33,160   | 印刷費、査読者謝礼 5000 円      |
| 通信費         | 35,000  | 32,096    | 2,904    |                       |
| 文具・消耗品費     | 10,000  | 6,181     | 3,819    | 外付 SSD(240GB)、封筒等     |
| アルバイト謝金     | 60,000  | 72,500    | △ 12,500 | 研究会受付、会誌編集/発送         |
| 講師謝金        | 25,000  | 10,000    | 15,000   | 10000 円×1 名           |
| 役員旅費補助      | 15,000  | 10,000    | 5,000    | 5000 円×2 名            |
| 発表者旅費補助     | 15,000  | 5,000     | 10,000   | 5000 円×1 名            |
| ホームページ管理費   | 23,300  | 23,300    | 0        | サーバ-使用料 3300+謝礼 20000 |
| 会場運営費       | 50,000  | 0         | 50,000   |                       |
| 雑費          | 3,000   | 7,631     | △ 4,631  | 免除会費の返還、振込手数料         |
| 予備費         | 60,000  | 20,000    | 40,000   | 学会賞(2020 年度)、広告費      |
| 2021 年度支出合計 | 416,300 | B 273,548 | 142,752  |                       |

(単位：円)

2022 年度への繰越金 A - B = 1,879,023 円

以上、監査の結果、適正に執行されていることを確認しました。

2022 年 6 月 7 日  
監査委員 手塚 薫**(2) 2022 年度事業計画および予算案****2022 年度事業計画**

- ①総会の開催 (第 1 回研究会と同時開催)
- ②研究会の開催 (3 回：6 月、10 月、2 月 (予定))

第1回研究会・総会：酪農学園大学

第2回研究会：10月22日に北海学園大学で開催予定

北海道民族学会・日本文化人類学会北海道地区研究懇談会 第4回卒論・修論・博論合同発表会

③『北海道民族学』第18号の刊行（9月末日エントリー締切、11月15日原稿締切）

④北海道民族学会・日本文化人類学会北海道地区懇談会 第3回卒論・修論・博論合同発表会の開催

## 2022年度予算

| 収入の部        | 前年度実績            | 予算               | 備考                                      |
|-------------|------------------|------------------|---|
| 前年度繰越金      | 861,167          | 1,879,023        |   |
| 会費収入 当該年度会費 | 165,000          | 228,000          | 3000円×76人(現会員数109-2021年度会費先払分26-免除予想数7) |
| 過年度未収金      | 30,000           | 15,000           | 3000円×5件(現会員の会費未払い分)                    |
| 先払い分        | 78,000           | 0                |   |
| 小計          | 273,000          | 243,000          |   |
| 会誌販売収入      | 18,400           | 10,000           |   |
| 雑収入         | 1,000,004        | 0                |   |
| <b>合計</b>   | <b>2,152,571</b> | <b>2,132,023</b> |   |

| 支出の部      | 前年度実績            | 予算               | 備考                          |
|-----------|------------------|------------------|-----------------------------|
| 会誌印刷費     | 86,840           | 150,000          | 印刷費、査読者謝礼                   |
| 通信費       | 32,096           | 35,000           | 会誌送料を含む                     |
| 文具・消耗品費   | 6,181            | 5,000            |                             |
| アルバイト謝金   | 72,500           | 80,000           | 会誌発送・編集、研究会受付等              |
| 講師謝金      | 10,000           | 20,000           | 共催イベント等                     |
| 役員旅費補助費   | 10,000           | 15,000           | 運営委員会活性化                    |
| 発表者旅費補助費  | 5,000            | 15,000           | 5000円×3名                    |
| ホームページ管理費 | 23,300           | 23,300           | サーバー使用料(3,300円)、謝礼(20,000円) |
| 会場運営費     | 0                | 25,000           | 研究会会場費、合同発表会経費等             |
| 雑費        | 7,631            | 5,000            | 振込手数料、コピー代、茶菓代等             |
| 予備費       | 20,000           | 20,000           | 広告費等                        |
| 小計        | 273,548          | 393,300          |                             |
| 次年度繰越     | 1,879,023        | 1,738,723        |                             |
| <b>合計</b> | <b>2,152,571</b> | <b>2,132,023</b> |                             |

(単位：円)

### (3) 総会議事

1. 2021年度決算および事業報告、ならびに2022年度事業計画および予算案について、事務局から報告があり、原案通りに了承された。
2. 2021年度学会賞について、特別賞・奨励賞ともに該当者がなかった。
3. 2021年度の途中から、学会誌の編集体制を変更した旨の報告があった。2022年度も同様の体制で実施する旨の提案あり、可決された。
4. 本年度第2回研究会を、10月22日に開催することが提案された。

## 2022年度研究会（発表要旨は本号に掲載）

### 第1回研究会プログラム

日 時：2022年6月12日（日） 13：30～17：30

会 場：酪農学園大学 C5号棟 203号教室

#### 【研究発表】

- 1) 落合いずみ（帯広畜産大学・准教授）  
「アイヌ語における上位起算法の再考—17世紀の記録「蝦夷国報告書」に照らして—」
- 2) 加賀田直子（北海道大学大学院文学院・博士後期課程）  
「近移動する狩猟者と動物の身体—北海道斜里町の狩猟実践を事例に—」
- 3) スクーチナ・イリーナ（北海道大学大学院文学院・博士後期課程）  
「翻訳者の（不）可視性—デジタル環境におけるライトノベルのアマチュア翻訳を事例として—」
- 4) 呉 納馨（ゴ・ノウケイ）（北海道大学大学院文学院・博士後期課程）  
「日本のドラァグ・クイーンにおける身体とパフォーマンス—札幌市の事例を中心に—」
- 5) 洗 麗珊（セン・レイサン）（北海道大学大学院文学院・博士後期課程）  
「エスニックツーリズムにおける地元民と外来者との付き合い」

#### 【総会・学会表彰式】

### 第2回研究会プログラム

日 時：2022年10月22日（土） 13:30～17:00

会 場：北海学園大学 豊平キャンパス 7号館 D40番教室

#### 【特別講演】

講師：武田忠義 氏（日本野鳥の会）

「アイヌの芸能に登場する鳥について」

### 【研究発表】

- 1) 元広修爾（北海道大学大学院文学院・博士後期課程）  
「社会人にとってのフィールドワーク経験の意味—仕事と週末環境ボランティアの往還から—」
- 2) 馬 長城（マ・チョウジョウ）（北海道大学大学院文学研究院・専門研究員）  
「類型論から見たアイヌ語の継続と完了形式の意味と共起問題」
- 3) シン ウォンジ（国立アイヌ民族博物館・エドゥケーター）  
「17世紀蝦夷地に漂着した朝鮮人関連記録『漂舟録』と『李志恒漂海録』にみえる地名「石将浦」について」
- 4) 池原優斗（北海道大学文学院・修士課程）  
「学際的研究活動における知識の創造過程—北海道大学人間知×脳×AI 研究教育センターにおけるフィールドワークから—」
- 5) 蟬塚咲衣（小樽市総合博物館・学芸員）  
「北海道の風流系民俗芸能—四箇散米行列の伝承を事例に—」

### 北海道民族学会・日本文化人類学会北海道地区懇談会 第4回卒論・修論・博論合同発表会

共 催：北海道民族学会、日本文化人類学会北海道地区懇談会

日 時：2023年2月26日（日） 13:00～16:40

会 場：ZOOM遠隔会議にて開催

北海道地区の大学に所属する学生による、卒業論文・修士論文・博士論文をもとにした6件の研究発表があった。

### 【演題】

- 1) 倉本優（北海道大学文学部）  
卒業論文 「プライドパレードをつくる人のエスノグラフィー—さっぽろレインボープライド実行委員会を事例に—」
- 2) 三栖大明（北海道大学大学院文学院）  
修士論文 「L.N. グミリョフに見られる無自覚な構築主義—主観的定義に基づくエトノス理論とその諸機能—」
- 3) 中村香音（北海道大学大学院文学院）  
修士論文 「「野生鳥獣」を撮る撮影プロセスから人と自然の絡まり合いを考察する人類学研究—北海道の「自然」における写真撮影を巡って—」
- 4) 芝崎瑞穂（北海道大学大学院文学院）  
修士論文 「なぜシマに住み続けるのか—海との関わり合いの記憶と場所への愛着—」
- 5) ライ サフロン（北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院）  
修士論文 「バーチャルYouTuberに見るポストヒューマンの身体」
- 6) 伊蘭（イラン）（北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院）  
修士論文 「ムスリム女性の観光業に対する認識研究—ウイグル女性を例に—」